



## 【ニボルマブ療法について】



**薬の名前と治療のスケジュール**（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

| 薬の名前              | 作用    | めやすの時間 | 1日目 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 1日目 |
|-------------------|-------|--------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|-----|
| 生理食塩液             | 洗い流し用 | 15分    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |     |
| ニボルマブ注<br>(オブジーボ) | 抗がん剤  | 30分    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |     |
| 生理食塩液             | 洗い流し用 | 15分    |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |     |



この週は  
お休みです。



### 作用

私たちの体の中では、免疫細胞が、がん細胞などの異常な細胞を攻撃、排除しています。

しかし、がん細胞は免疫細胞の働きにブレーキをかけ、その攻撃から逃れる事が分かってきました。

この抗がん剤は、免疫細胞の働きにがん細胞からのブレーキがかからないようにします。

この結果、免疫細胞は攻撃力を取り戻し、がん細胞を再び攻撃する事ができるようになります。



### 治療による副作用

・軽度の皮膚障害（発疹、かゆみなど）は、早期におこることが多いです。

・注意を要する副作用の**一部**

●間質性肺疾患（症状の例：息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など）

●1型糖尿病（症状の例：口が渇く。たくさんの水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など）

●甲状腺機能障害（症状の例：気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼったい。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど）

●重症筋無力症（症状の例：まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど）

●薬剤の注入に伴う反応（点滴中または投与後）（症状の例：吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など）

・**その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。**

・今後の外来での治療に際して、自宅での症状確認の参考としますので、お渡しした説明冊子の治療日記に記入をして下さい。



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。